

淡河拠点づくり ワークショップレポート

道の駅周辺の現状と課題を把握しよう！

2026
vol.1

◎第1回ワークショップを開催！

2026年7月7日（火）に第1回ワークショップ「道の駅周辺の現状と課題を把握しよう！」を実施しました。はじめに事業内容を説明した上で、参加者は道の駅・浦川・淡河城址の3つのテーマに分かれて意見交換を行いました。この意見交換では、複数のテーブルを順に巡るワールドカフェ方式を取り入れ、各テーマに沿った現状と課題を、付箋に書き出しながら参加者同士で共有しました。

開催日時	2026年7月7日（火）14時～16時
開催場所	北神区役所淡河出張所 2階会議室
参加人数	19名 （本町自治会、淡河町自治協議会、淡河の明日を考える会）



◎第1回ワークショップの総括

A班（道の駅）

A班では、道の駅機能強化に必要な設備や周辺施設との連携について意見交換を行いました。道の駅については、にぎわいや地元産品の販売など、地域の拠点としての役割を評価する意見が挙げられました。一方、駐車場や出入口の使いにくさ、周辺道路の混雑、施設配置や動線などの課題も確認されました。また、イベントの充実や地域ブランドの発信強化など、地域の活性化につながる機能強化を期待する意見が寄せられました。



B班（浦川）

B班では、浦川の利活用（親水空間・自然学習など）について意見交換を行いました。浦川については、冷たくきれいな水やホタル、水辺の景観など、豊かな自然環境を評価する意見が挙げられました。一方、竹やぶの繁茂や安全対策、維持管理などの課題も確認されました。また、自然環境の保全を前提とした親水空間の整備や環境学習への活用などを期待する意見が寄せられました。



C班（淡河城址）

C班では、淡河城址との連携およびイベントについて意見交換を行いました。淡河城址については、歴史的価値や眺望、四季折々の景観など、地域の魅力を象徴する資源として評価する意見が挙げられました。一方、入口や経路の分かりにくさ、駐車場の不足、樹木の繁茂などの課題も確認されました。また、案内機能の充実や景観整備、歴史学習への活用などを期待する意見が寄せられました。



◎ 第1回ワークショップの主な意見

A班 テーマ：道の駅機能強化に必要な設備や周辺施設との連携について

《良いところ》

- 三木三田線・国道の交差部にあり立地条件が良い
- にぎわいがある
- 新鮮な地元産野菜や地域の花が購入できる
- 直売所を通して地域住民のつながりづくりや農家の生業の支援になっている
- 道の駅周辺の町並みがコンパクトで良い
- 駐車場から淡河城址が見える景観が良い

《悪いところ》

- 駐車場が狭い、出入口が使いにくい
- 交差点渋滞が発生しやすく、抜け道利用も多い
- バス停が点在しており、利用者の利便性を高めるため、集約の検討が必要である
- 駅舎やトイレにインパクトがない、SNS映えしない
- 施設配置に課題があり、使いにくく危険な動線がある
- 稼げる拠点となっていない、目玉となる要素がない
- 緑が少なく、里山らしさを感じられない

《変えたいところ》

- 駐車場を拡大してほしい（出荷者専用も）
- 左折入庫、2階建ての駐車場にしてはどうか
- 二輪利用者（バイク・自転車）が使いやすい施設にしてほしい
- 駅舎を大きくし、ゆっくり買い物や休憩ができる環境、交流・学習スペース等を確保してほしい
- 歩行者が安心して歩けるように整備してほしい
- 周辺施設と連携し滞在時間を延ばしたい
- 足湯やお風呂などの施設を設置してはどうか
- 休業日や夕方以降にもイベントを開催してほしい
- 子ども向けの遊び場や環境学習、農業体験がほしい（子どもの居場所づくり）
- スタートアップの拠点（地元の雇用創出）
- 道の駅全体のブランディングが必要
- 駐車場を緑化し、緑と花をPR
- 四季を感じられる道の駅としたい
- 淡河城址へ渡る吊り橋がほしい
- 学生の通学も関連付けられないか

B班 テーマ：浦川の利活用（親水空間・自然学習など）について

《良いところ》

- 小さい魚の種類が多い
- 川の水が冷たくてきれい
- 昔から変わらない景色
- 身近に自然や水辺を感じられる
- ホタルなど地域固有の環境資源が残されている

《悪いところ》

- 竹やぶが茂り、ホタルが見えにくい
- 地域外の人々がけがをするリスクがある（ホタル観賞の際に足元が暗くて危険）
- 電柵の有無が分かりにくく危険
- 段差が大きく、川に入って遊ぶことが難しい

《変えたいところ》

- ホタル観賞のために照明は工夫してほしい（明るいと見えない）
- 淡河小学校等と一緒につくりたい
- 親水空間を整備する場合、遊べるエリアを明示したい
- 川が深い箇所では手すり等の安全対策を検討してほしい
- 地元を誇りに思える空間がほしい
- 保護者が休めるスペースがほしい
- 自然を取り戻したい
- 管理道・農道の区分を明確にしてほしい
- 駐車場が増えたと行きやすい

C班 テーマ：地域の歴史資源（淡河城址等）との連携及びイベントについて

《良いところ》

- 歴史的価値が高い
- 四季折々の風景が楽しめる
- 淡河のまちを見渡せる
- 昔から変わらない景色が残る
- 地域の記憶が残る場所（昔の遊び場（すもう））

《悪いところ》

- 駐車場がない
- やぐらの倒壊が心配
- 樹木が繁茂している
- アクセスが不便
- 城址の存在が分かりにくい
- 入口や登り口、経路が分かりにくい
- イノシシ、マムシ、やぶ蚊がいる

《変えたいところ》

- 淡河城址の中をきれいにしてほしい
- 天守閣の再現、ミニチュア復元、のぼり旗や看板の設置など具体的な演出を検討してほしい
- 遊歩道を整備し、散策できるようにしたい
- 道の駅から行きやすくしてほしい
- 歴史ツアーを実施してほしい
- 季節の花を植えてほしい
- 小学生が学習できる場所にしたい